

## 第6章 バリアフリーの実現に向けて

### ○各事業計画の作成と着実な事業の実施

策定された基本構想に即して各事業者は、市をはじめ関係機関と調整を図りながら、早期に事業計画を作成し、これに基づき事業を実施することとなります。市では、早期に各事業者に作成を依頼します。その後は、着実にバリアフリーが進むように事業の進捗状況を定期的に把握します。

### ○バリアフリーからユニバーサルデザイン※の視点へ

生活をしていく上でさまざまな障壁を取り除いていこうとするバリアフリーの視点から、すべての人が利用しやすいように、はじめからバリアをつくらないユニバーサルデザイン※の時代へと社会は変化し始めています。基本構想の実現をそのスタートとして、すべての人が暮らしやすい所沢市を目指します。

※ユニバーサルデザイン：バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるの対して、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方